



YANMAR

ジョンディア自走式フォーレージハーベスタ

JD-9000 Series

JD-9500(765PS) JD-9600(787PS) JD-9700(825PS) JD-9800(870PS) JD-9900(970PS)



JOHN DEERE



YANMAR

ヤンマーアグリ株式会社

〒702-8585 岡山県岡山市中区江並428
yanmar.com



このカタログの仕様は、改良などにより、予告なく変更することがあります。



この印刷物は
植物油インキを使用しています。

⚠ 安全に関するご注意

- ご使用の際は、取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- 無理な運転は商品の寿命を縮め、故障・事故の原因となることがあります。
- 故障・事故を未然に防止するため、定期点検は必ずおこなってください。
- 保証書はご購入の取扱い店で必ずお受け取りください。

商品についてのご意見、ご質問は下記へ…

飼料収穫作業は、 さらなる高次元へと進化を遂げる。

高品質な飼料収穫を可能とした8000シリーズを基に、さらに品質の高いサイレージを効率的に生産したいという想いが、新しいフォーレイジハーベスタ9000シリーズとして結実しました。最高峰の処理機能、稀に見る強固さを備えたカーネルプロセッサによる比類なき飼料品質。誰もが求めていた理想的なパワーを持つ強力なエンジン駆動。これらがあなたの飼料収穫作業を、さらなる高次元へと進化させます。



Forage Harvesters

JD-9000 Series

※写真はヨーロッパ仕様のため、国内仕様と異なる場合があります。

Excellence Evolved

9000シリーズの進化はエンジン性能だけに留まらず、さらなる生産性の向上を実現しました。



※写真はヨーロッパ仕様のため、国内仕様と異なる場合があります。

1 収穫作業

新設計により、エンジン定格回転1800rpmに合わせた動力伝達を開発。処理能力が向上し、燃料消費率を下げることができました。 ※JD-9600は除く。

2 機能的で快適なキャビン

全景が見わたせる広々とした空間で、操作もしやすく、オペレーターの疲労軽減や安全・効率性を高めました。

3 ダイナミックなクロープフロー

取り入れ口のロス是最小限に抑えられ、作物の流れを最適化することで、馬力あたりの処理量が向上しました。

4 高性能のカーネルプロセッサ

実績あるジョンディア・プレミアムカーネルプロセッサや新型のジョンディア・エクストリームカーネルプロセッサを搭載。長い作物の切断でも理想的な処理結果が得られます。

5 最大限のパワーを発揮

ジョンディアのプロドライブトランスミッションに匹敵するものは他にありません。強力なけん引力により、様々なシーンでそのパワーが発揮されます。

6 低コストオペレーション

サービスインターバルは長く、また日々のメンテナンス箇所は少なく、アクセス性に優れています。

Engine

優れた処理能力と高出力により、
重量のある作物でも高い生産性を発揮します。

JD-9500～9700にはジョンディア社製エンジンJD18X(総排気量：18L)、JD-9800/JD-9900にはリープヘル社製エンジン(総排気量：24.2L)を搭載しています。ジョンディア社製エンジンJD18Xは、尿素が不要で排気ガス規制StageV/FT4(日本国内特殊自動車排気ガス第4次規制相当)をクリアした高効率なエンジンです。

縦に配置されたエンジンはどちらも、最低限のファンの力で高い冷却効率を発揮し、優れた保守性と重量配分が特長です。

パワー、クリーン、エコノミーのすべてを追求したエンジンは、さらに生産性の高い作業を可能にします。



冷却設計

縦置き型の9000シリーズエンジンは、表面の大部分が他の部品に遮られることなく、機体の外側近くに設置されているので、横置きエンジンの場合に必要となる大型でパワーを大量消費する冷却バックは不要です。

冷気はキャビン後ろのルートから取り込まれ、エンジンに沿って背面と側面にある出口へと流れて行きます。これにより、少ない部品で効率の良いエンジン冷却が可能になりました。

■ジョンディア社製18.0Lエンジン

(適応型式：JD-9500～9700)

尿素が不要ながらクリーンな排気で、ランニングコストを抑え、安定した作業を実現します。



■リープヘル社製24.2Lエンジン

(型式：JD-9800、JD-9900)

12気筒の大排気量のエンジンで、高負荷作業でも高効率な作業を提供します。

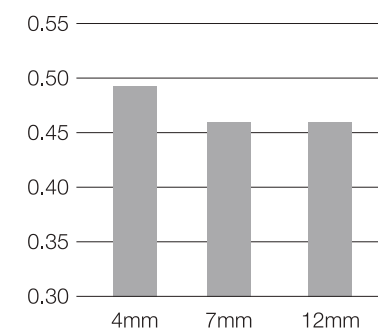


実証済みの高性能

著名なドイツ農業協会(DLG)により、さまざまな収穫条件における新型9000シリーズの性能を念入りにテスト済みです。独自の実証と認証が行われています。

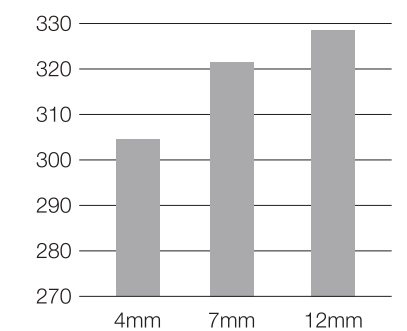


■ JD-9800の燃料消費量 (L/t)



収穫作物1tあたり0.5L未満という燃料消費量は、非常に低いレベル＝低燃費です。

■ JD-9800の処理能力 (t/h)



処理能力は328t/hにまで達しており、試験を行ったJD-9800は非常に大きな潜在的性能を示しています。

※写真はヨーロッパ仕様のため、国内仕様と異なる場合があります。

様々な収穫条件にマッチするよう設計。

1 フィードロール

細長い板状のノコギリ歯を特長とするフィードロールは、乾燥した牧草から粘りのあるアルファルファ・クローバーまであらゆる収穫状況に適応します。上側のフィードロールは取替えが可能で、下部のフィードロールには金属探知機のコイルと、石探知機のセンサーを収納するチューブを装備することで、大切な本機の保護はもちろん、収穫した作物も守ります。また上下のフィードロールを前モデルに比べ25%広くすることで、よりスムーズな作物の流れを実現し、作業能率アップに役立ちます。

IVLOC対応、効率よくめらかにカット。

3 デュラドラムカッターヘッド

56枚のセグメントナイフと頑丈なドラムにより、効率よく正確に作物をカット。丈の長い牧草や繊維質の作物、コーンなどの細断性にすぐれています。また前モデルに比べて、カッターヘッドの径を10%大きくしたことで慣性が働き、馬力ロスを少なくしています。ナイフ交換は3本のボルトを外し、新しいナイフを入れてボルトを締めるだけです。

※写真はコーン用ナイフ。実装備は牧草用ナイフになります。



※写真はヨーロッパ仕様のため、国内仕様と異なる場合があります。

コーンをキレイに破碎、牧草収穫時の取外しもカンタン。

4 カーネルプロセッサ（K仕様）

カーネルプロセッサは、上部ロールが下部ロールより20%高速回転し、コーンをキレイに破碎します。

ほ場にある金属や石からフィードロールとカッターヘッドの損傷を防止。

2 高感度金属 & 石探知機 新機能

従来機に装備されていた金属探知機に加え、9000シリーズには石探知機も装備しています。金属探知機および石探知機が異物を探知すると、自動的に駆動を遮断し、後行程の機械損傷を防ぎます。

Cropflow

良質なサイレージづくりを徹底追及。
処理速度・精度の飛躍的な向上を実現しました。

刈取り・切断・排出まで、作物がよりスムーズに流れるような設計を採用しています。理想的な動力伝達を実現しており、フィードロール・カッターヘッド・カーネルプロセッサなど、各所で生じる負荷が極めて少なく、長時間に渡って高いパフォーマンスを発揮します。

Cutterhead

鋭い切れ味が持続するカッターヘッドを採用。
効率の良い刈取りを実現します。

ジョンディア社の技術力を集約させたカッターナイフを採用。
刈取る際に自動的にナイフが研がれることで、
常に鋭いナイフ状態を維持できるように設計されています。

豊富な実績を誇るカッターヘッドデザイン

カッターヘッド

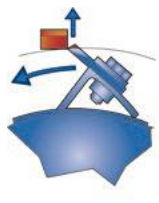
カッターヘッドの起源は、ジョンディア社が初めてマルチナイフデザインを採用した1970年代まで遡ります。現在、確かな技術を集約させたカッターヘッドは、ジョンディア工場から出荷された1000台以上のフォーレイジハーベスタに使用され、高効率のチョッピング動作を世界中の農家に提供しています。

耐久性にすぐれたナイフとシェアバー

ナイフ&シェアバー

ナイフは、長期に渡りシャープな状態を維持するため、炭化タングステンでエッジをコーティングしています。

■逆転研磨で鋭い切れ味

[ジョンディア]	[他社]
 逆転研磨によりヒールができないので鋭い切れ味が持続、ナイフを研ぎ直して修正する必要ありません。	 正転研磨の場合、ヒールができるためナイフが研磨面から離れてしまい、ナイフの品質維持が難しくなります。

Kernel Processor

コーンの理想的な粉碎が可能。
栄養価を落とさない良質な飼料生成を実現します。

カーネルプロセッサはコーンに切り込みをいれることで、
栄養価を落とさず飼料を生成できます。

理想的なコーンの粉碎を実現。

カーネルプロセッサ (K仕様)

カーネルは、異なる速度で反対方向に回転する2つのロールで構成されています。カーネルを通過する際に、2つのロールの隙間調整で、作物への圧力をコントロール。キャビン内のコマンドセンターでの簡単な隙間調整だけで、さらに高レベルの粉碎を可能にしました。最低限の圧力で穀物をしっかり粉碎することができるので、燃料消費も抑えることもできます。



切替えもカンタン。

カーネルプロセッサの切替え

牧草を収穫するときは、クランクレバーを使用して簡単に、収納位置と作業位置の間を上下できます。コーンの収穫時期の初めのころ、牧草収穫の終りかけの時期、あちこちに少しだけ残る牧草の収穫に戻らなければならない場合などに便利です。



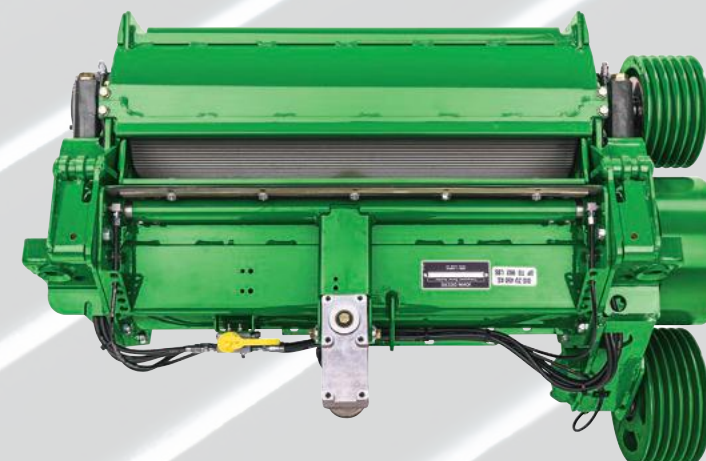
エクストリームカーネルプロセッサ (JD-9900)

穀粒処理ロール設計の世界的リーダーであるシェラー社の著名な専門家とともに、高馬力用の新型ジョンディア・エクストリームカーネルプロセッサを開発しました。直径250mmのロールと50%の速度差により、切断長さに関わらず均一に粉碎された穀粒を送り出します。



プレミアムカーネルプロセッサ (JD-9700/9800)

プレミアムカーネルプロセッサは、どのような切断長さでも優れた飼料品質を生み出ことを可能とする実績ある高強度処理装置です。寿命が長く、耐久性の高いロールを特徴としています。



※写真はヨーロッパ仕様のため、国内仕様と異なる場合があります。

ProDrive

一定の速度設定で傾斜地作業も 安心、確実に。

車のクルーズコントロールのような定速走行の設定が可能のため、傾斜地を下る作業でも安心して作業が行えます。また、プロドライブの多機能レバーを前に倒すだけで最高速までの走行が可能です。さらに、4輪駆動とアンチスリップ制御により4輪全てをフル制御し、最高の走破性を実現します。

☐ 柔らかいほ場に優しい

旋回をする場合は、前後の車速を自動で調整しますので、ほ場を必要以上に痛めることもありません。

☐ 強力なけん引力

四輪駆動の内、ひとつのけん引力が弱くなると、その他のホイールの油圧をコントロールして全体的なけん引力を強化します。

☐ 確実なブレーキシステム

素早く停止したい場合も多機能レバーをニュートラルに倒すだけで、4つのディスクを持った2つのブレーキユニットが即座に可動。同時に駐車ブレーキも作動します。

☐ トレーラーの並走が容易に。

傾斜地を下る作業時にも一定の車速を維持できるので、並走するトレーラーも車速を合わせやすく正確な作業が行えます。



※写真はヨーロッパ仕様のため、国内仕様と異なる場合があります。

Cabin

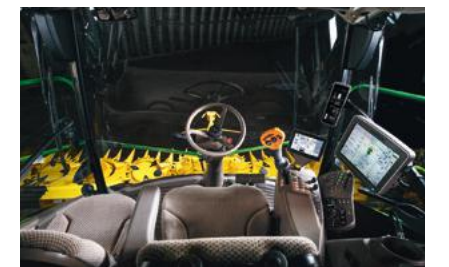
進化をとげた上質な操作・居住スペース。
直感的な操作を実現し、長時間にわたる作業も
集中して行えます。

キャビンは作業全体を見わたせるワイドな視界を実現。
コマンドアームは、人間工学に基づいて設計されているため、繊細な操作も直感的に行えます。
さらに、制御ボタンやスイッチ類のレイアウトも視認性に優れ、
オペレーターの疲労軽減や安全・効率性を高めます。

作物を見わたせるワイドな視界、操作しやすく居住性にもすぐれた快適空間。

キャビン

フォーレイジハーベスタの理想的な操作空間を追求。大形のウインドーガラスは着色によりまぶしさを除去。ピックアップやコーンヘッダの全幅にわたって、刈取る作物を見渡すことができます。前方はもちろん横方向と後方の視界がすばらしく、足元の空間も広がりました。デラックスシートに座るとハンドルとコラムはチルトや伸縮ができ、乗り降りや操作がしやすくなっています。また、フレームとエンジンはキャビンから分離、ラバーマウント機構により静粛性がいちだんと向上しています。



制御ボタンやスイッチ類は、わかりやすい位置にレイアウト。

コマンドセンターとコマンドアーム

人間工学に基づいた設計で、操作機器類は身体の延長上に設定。ムリなく快適に操作でき、オペレータの疲労感を軽減し安全性と効率性を高めます。また、多機能レバーだけで作業中のほとんどの操作ができるように進化。スイッチの機能割当はコマンドセンターで可能です。



2種類の作業用カメラを標準装備し、作業効率がアップ。

バックカメラ、スパウトカメラ

バックカメラの装備により、バック時に後方の視界をコマンドセンターで確認可能に。更にスパウトカメラで作物の排出状況が確認でき、作業効率がアップします。



Headers & Pick-ups

収穫ユニットを組み合わせ、スピーディで効率の良いピックアップ・刈取作業を実現します。

厳しい条件下での耐久性・パフォーマンスに優れた、ピックアップ・コーンヘッダーをご用意。作業シーンに合わせて対応できるよう機種を取り揃えています。スピーディで高能率作業を実現できる収穫ユニットをご体感ください。



※写真はヨーロッパ仕様のため、国内仕様と異なる場合があります。

牧草ピックアップ



639シリーズ(牧草)

作業幅 3m

フィードロールとオーガが速度同調するので、詰まりも少なく均一かつ高能率な作業が可能です。また凸凹した土地の状況下での性能を改善するために、新型の折りたたみ可能なゲージホイールを搭載しました。

特許を取得したジョンディア独自のオーガの形状により、作物の流れをスムーズにします。



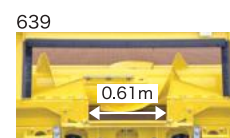
ヘッダーオートマチックPTOカプラー

作業変更時のヘッダーの付け替えや、輸送時のヘッダーの取り外しなど、ヘッダーをすくい上げるだけで装着が可能に。作業時間が短縮され、作業効率がアップしました。



■ジョンディアピックアップ主要諸元

型式名	639
全長 (m)	1.35
全幅 (m)	4.06
牧草フィード幅(m)	0.61
作業幅 (m)	3.00
全高 (m)	1.40
質量(重量) (kg)	1070
適応型式	9500,9600,9700,9800,9900



ロータリーヘッダー

Kemper ロータリーヘッダー 460型

刈幅 6m(8条刈り)※

※75cm条間の場合



スピーディに効率よく、自在に刈取作業。

ロータリーヘッダーは、タングステンカーバイド加工の鋭いナイフを採用。倒れている作物でも回転刃でスピーディに効率よく刈取れます。植付条間を気にすることなく刈取方向も自在。チェーンを使用していないため、メンテナンスの手間も省けます。1条あたり2枚の回転刃を装備しているため、効率よくキレイに刈取れます。

■Kemperロータリーヘッダー主要諸元

型式名	460
全長 (m)	2.80
全幅 (m)	6.10
作業時 (m)	6.10
移動時 (m)	3.00
作業幅 (m)	6.00
作業条数 (条)	8
全高 (m)	1.50
折りたたみ時 (m)	2.30
質量(重量) (kg)	2750
適応型式	9500,9600,9700,9800,9900

Active Fill Control (オプション)

アクティブフィルコントロールで、収穫物のトラックへの積み込み作業など一層の効率化が可能になります。

収穫ロスが軽減。

カメラでトレーラーへの積み込み状況を確認しながら自動でスパウトを制御し、ダンプに投入。均一に積み込みが可能で、作業ミスを監視することができます。また、作物の種類を問わず作業が可能です。

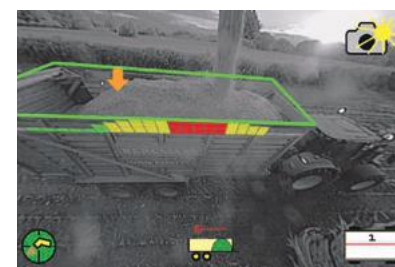
トレーラーの位置情報を素早く認識。

トレーラーの入れ替えや枕地での旋回などの後も、アクティブフィルコントロールなら素早くトレーラーの位置情報を認識できますので、不必要な停止など無駄な動作を省けます。

昼夜を問わず作業が可能。

光が少ない状況でもアクティブフィルコントロールは機能しますので夜間の作業にも柔軟に対応。大幅な作業効率のアップが図れます。

※アクティブフィルコントロールは、自走式フォーレイジハーベスタでけん引するテッピングワゴンでは使用できません。



※写真はヨーロッパ仕様のため、国内仕様と異なる場合があります。

Maintenance

各部メンテナンスもカンタンに行える。

日常的な点検や調整をラクに行えるよう徹底追及。
各部の開閉やナイフ交換なども容易にメンテナンス可能です。

運転席から研磨操作、逆転研磨で鋭い切れ味。

カッターヘッド研磨システム

必要に応じて運転席に座ったまま研磨作業が可能。IVLOCによりエンジン回転数とは関係なく研磨でき、低回転数で燃費を抑え騒音も低減します。さらに、カッターヘッドの逆回転で研磨するため砥石がナイフの下端から刃先に向かって引かれ、先が細くなるまで研磨。ナイフは長期間鋭利さを保持でき、交換の手間も減ってコストを節約できます。



後部パネルとサイドパネルが大きくオープンでき、エンジン各部のメンテナンスがラクに行えます。



サービスルームを広くし、各部のメンテナンスをしやすくしました。



カッターヘッドのナイフ交換も簡単。ボルトをまわしてナイフを外し、新しいナイフをつけるだけです。



自動集中注油装置で手間いらず。あらゆる潤滑箇所に、常に新しいグリースが自動で潤滑されます。



ヘッダーをつけたままV型に開閉が可能なのでナイフの調整や金属・石探知機のメンテナンスもラクにできます。



フィードロールハウジングは回転開放式、取外しが容易で便利で、メンテナンス性がいちだんと向上しました。



コンプレッサーを装備しているのでエンジン周辺の塵埃の掃除が容易にできます。

※写真はヨーロッパ仕様のため、国内仕様と異なる場合があります。

■主要諸元

名称			ジョンディア 自走式フォーレージハーベスタ									
販売型式名			JD-9500		JD-9600		JD-9700		JD-9800		JD-9900	
区分・仕様			N23	KN23	N23	KN23	N23	KN23	N23	KN23	N23	KN23
機体寸法 (ヘッダー無)	全長 (mm)		7260									
	全幅 (mm)		3360									
	全高 (mm)		3970									
エンジン	製造元		ジョンディア						リープヘル			
	型式名		6180ZX501						D9512 A7-04			
	総排気量 (L)		18.0						24.2			
	シリンダー数		6気筒						12気筒			
	最高出力 (kW{PS}／rpm)		563{765}		579{787}		607{825}		640{870}／1800		713{970}／1800	
	使用燃料		ディーゼル軽油									
	燃料タンク容量 (L)		1500									
	SCRタンク容量 (L)		－						103			
走行部	タイヤ	前輪	800／70R38									
		後輪	620／75R30									
	ブレーキ方式		電気式油圧駆動湿式ディスク									
	トランスミッション		プロドライブ2速トランスミッション									
	最高 走行速度	圃場モード (km/h)	20									
		道路走行モード (km/h)	30									
フィードロール	フィードロール数		4									
	幅 (mm)		830									
カッターヘッド	ナイフドラム幅 (mm)		850									
	ナイフドラム直径 (mm)		670									
	ナイフ数 (枚)		56									
	切断長 (mm)		4-16(1mm刻み)									
	回転数 (rpm)		1350									
	研磨方式		逆転研磨(キャビン内操作可能)									
カーネル プロセッサー	ロール径 (mm)		－	240	－	240	－	240	－	240	－	250
	ロール回転数(上) (rpm)		－	3468	－	3468	－	3468	－	3468	－	4181
	ロール回転数(下) (rpm)		－	2610	－	2610	－	2610	－	2610	－	2743
	質量 (kg)		－	360	－	360	－	360	－	360	－	420
ブロー	ローター径 (mm)		560									
	経路幅 (mm)		620									
	ブレード数 (枚)		10									
	回転数 (rpm)		1890									
スバウト	旋回角 (度)		210									

※この主要諸元は改良などにより、予告なく変更することがあります。
※この主要諸元は、ジョンディア社の情報に基づくものであり、実測値と異なる場合があります。

■主要装備

販売型式名	JD-9500		JD-9600		JD-9700		JD-9800		JD-9900	
区分・仕様	N23	KN23	N23	KN23	N23	KN23	N23	KN23	N23	KN23
金属探知機・石探知機	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
IVLOCフィードロール(無段変速)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
シェアバー、リバーシブル	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
シェアバー、自動研磨	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
スバウト 油圧上下操作	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
自動注油	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
カーネルプロセッサー	—	○	—	○	—	○	—	○	—	○
アクティブフィルコントロール	オプション	オプション	オプション	オプション	オプション	オプション	オプション	オプション	オプション	オプション